

# 環境パフォーマンスレポート

伊藤アスファルト建設株式会社 《2021.4.1～2022.3.31》

## 2021年度環境目標（2020年度対比）

電力の使用量低減（kwh）：本社事務所  
As混合物のロス率低減（%）：各現場施工部門  
自動自動車燃料燃費率低減（%）：主に連絡車  
一般・建設廃材管理（t）：現場施工部門



『電力の使用量低減（kwh）は、2022.3累計実績で9370 > 2022.3\_9347kwh(目標値)を得て**23kwh低減**され**CO2排出量で15.6kg - Co2低減**しています。』

昨年度より実施している、無駄な電灯の消灯、使用していないPC等の電源OFFは実行していたが、社内待機の人員が多く、電気の消費が多くなり、低減はされているが伸び悩んでいる。

『As混合物のロス率』は前年度実績 - 11.88%より、目標値を - 9.74%に設定、2022年度3月末累計で - 4.22%実績得て、5.52%低減されている。混合物、累計使用実績 21,294.2 t x 5.52% = 1,175 t の低減され、CO2排出量は、60.29kg-CO2/t（エコプラザ実績値+標準運搬の燃料含む）1,175 X 60.29 = 70,841kg-CO2低減し、パフォーマンス向上している。

昨年度実績に基づき目標値を-9.74%に設定し、混合物の無駄やオーバーレイ解析の工夫・路盤仕上り精度向上・ICT活用することに取組んだ結果としている。

『自動車燃料燃費率は3月末累計で目標値**12.96% > 12.52%**と**0.44%向上**し、走行距離に換算したCO2排出量が増加してる。』

最高責任者の指示に基づく実施対応策、車両燃料の低減、EV車両の導入、エコドライブ、不用物積載整理と車両の整備などで燃費率の向上の実施に取組んだ成果が出ている。現場施工部門は、工事特性によるが極力軽油・灯油の使用量を抑えること。

## 『最高責任者よりコメント』

今期も、高規格道路が主としてICT活用することができ、路盤仕上がり精度の向上、施工日数の短縮により燃料の消費率の低減することができたが、AS混合物のロス率は冬季施工が少ないこともあり、昨年度より増加傾向にある。電気の消費率については目標値を満足しているが、伸び悩んでいる。また、自動車燃料燃費率を低減させたい。

## 『総括責任者よりコメント』

環境パフォーマンスの向上を達成するため、『環境に関する基本方針』及び設定した『環境目標』を環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、さらなるレベルアップに努めたい。また、連絡車の燃費率向上を図るために、エコドライブ・アイドリングストップを徹底し、電気の消費率は来年度の課題としたい。

## 【一般・建設廃材管理（t）】

現場で発生ごとに manifests でそれぞれの処理場に搬出し、委託処分している。

廃材の発生量は工事ごとに決まるが設計量を極力抑える等で適正処理をお願いする。一般ごみは、今後も分別された容器に処理すること。

☆担当者に協力願います。

伊藤アスファルト建設株式会社

函館市金堀町2番41号

TEL:0138-51-1539 FAX:0138-51-1538

HES1認証-No 0117